

II. 現状把握と見直しの要点

- | 01 | 位置と土地利用
- | 02 | 人口や産業の動向
- | 03 | 市民の意向
- | 04 | 見直しの要点

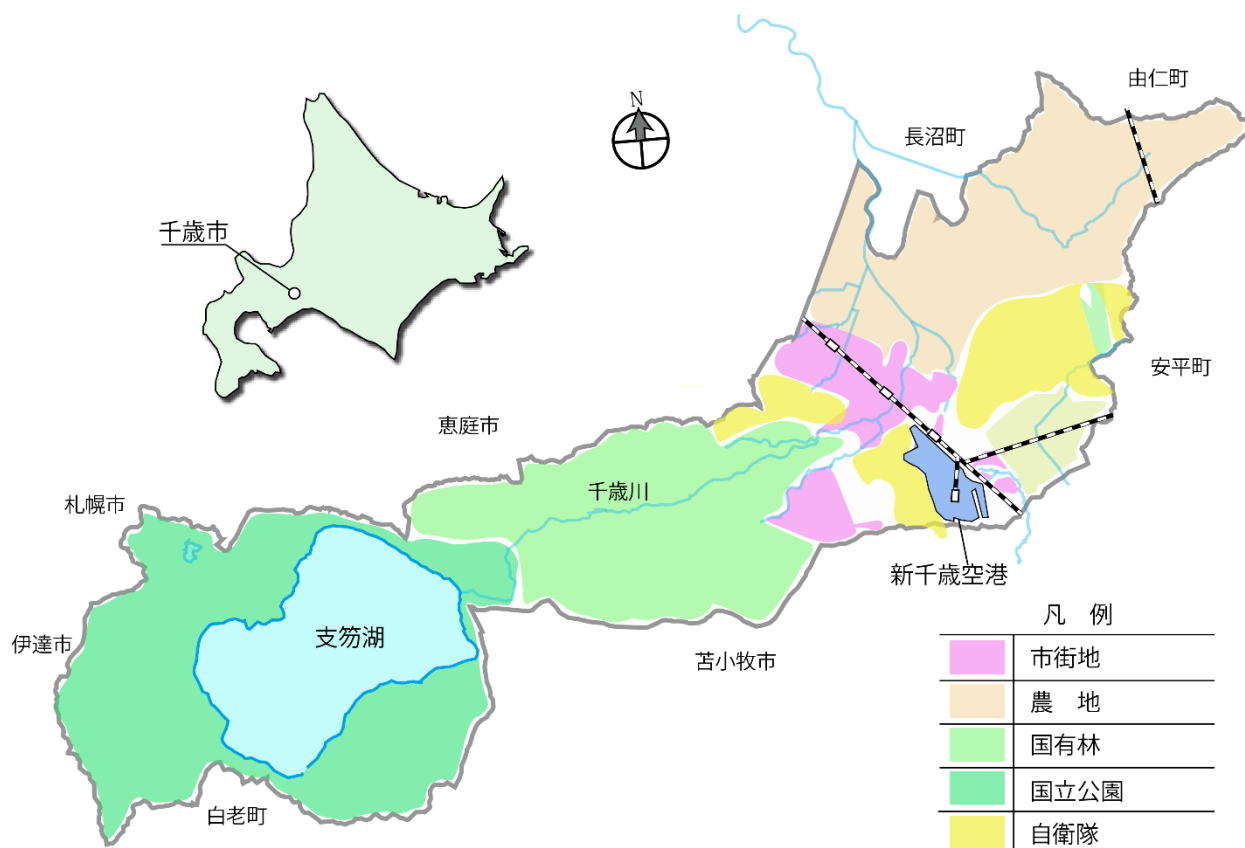
II. 現状把握と見直しの要点

| 01 | 位置と土地利用

千歳市は、北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、道央圏の中央、札幌市と苫小牧市、室蘭市の臨海工業地帯の中間に位置しており、市域は東西に約57km、南北に約30km、東西に細長く西高東低の地形で、総面積は約595km²となっています。

千歳市の行政区域面積の約75%は西部に位置している国立公園支笏湖を含む国・公有地で占められており、都市計画区域*内には市街地のほか自衛隊の防衛施設や空港用地などがあります。また、北部及び東部には、酪農や畑作を中心とした優良農地が広がっています。

図 位置と土地利用の状況

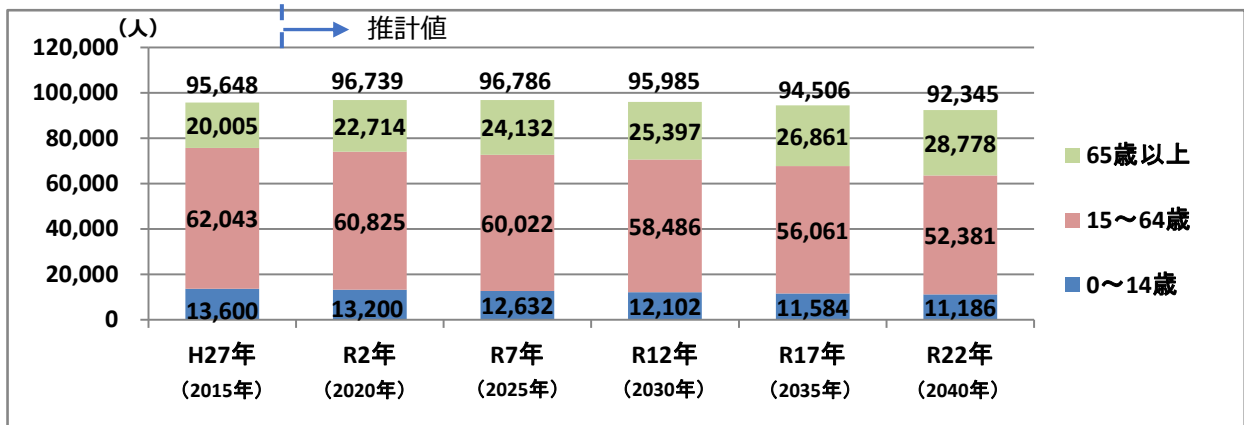


| 02 | 人口や産業の動向

□ 人口

- ・千歳市の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所*による推計において、平成 27 年（2015 年）を基準にした場合、令和 12 年（2030 年）まで上回っており、ピークとなる令和 7 年（2025 年）の推計人口は 96,786 人となっています。
- ・令和 2 年（2020 年）の国勢調査では、総人口が 97,950 人であり、推計のピーク値を上回っています。
- ・市街化区域*内人口は、令和 7 年（2025 年）まで増加し、その後減少に転じ令和 22 年（2040 年）には 87,947 人となりますが、基準年を上回る推計となっています。

図 年齢区分別総人口の将来推計



資料：平成 27 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

図 総人口及び将来推計人口

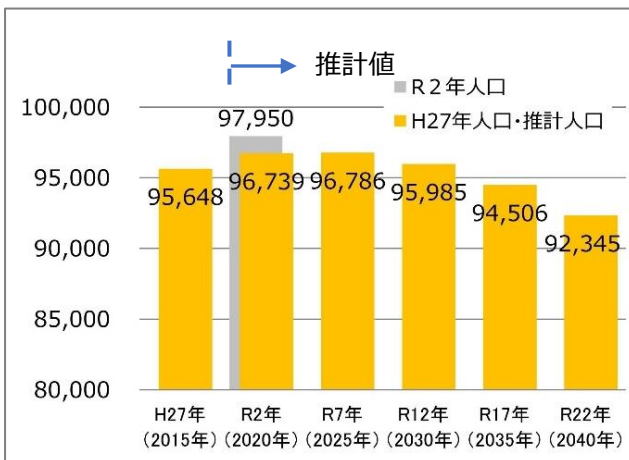
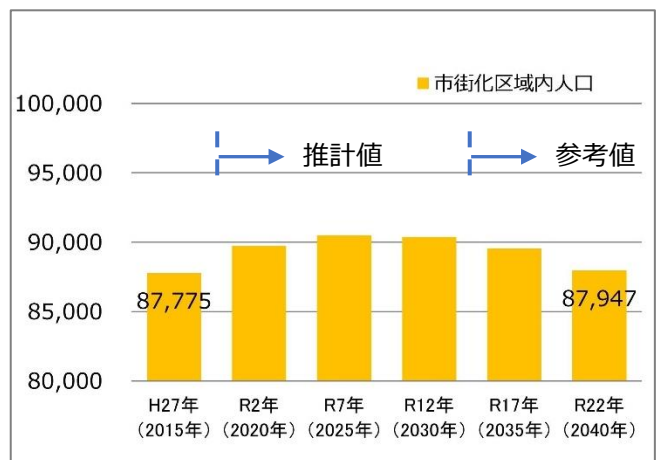


図 市街化区域内人口の将来推計

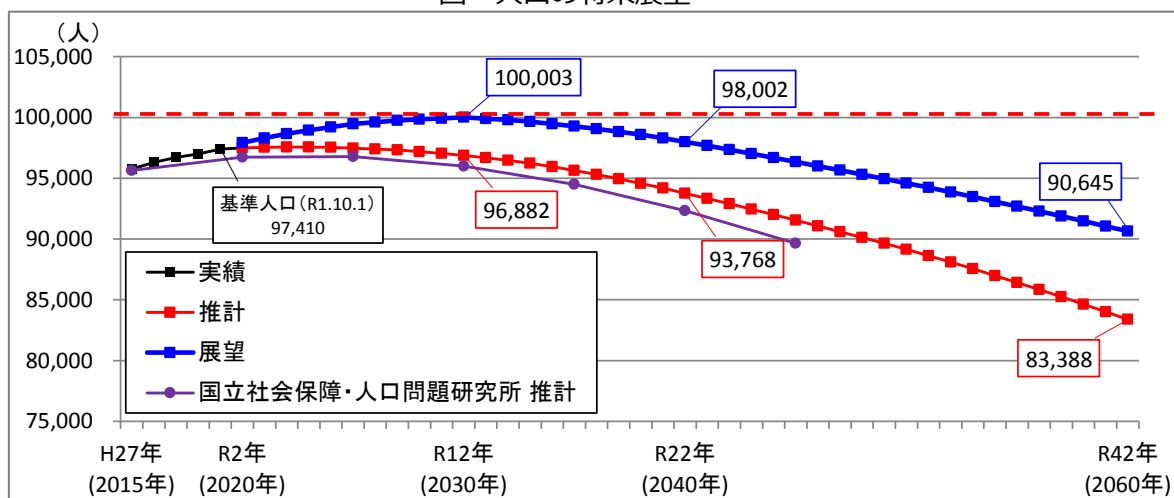


資料：平成 27 年国勢調査、令和 2 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所、千歳恵庭圏都市計画区域区分の資料より作成

□ 人口の将来展望

- ・令和3年（2021年）3月に策定した千歳市第7期総合計画において、令和12年（2030年）の人口の将来展望を10万人としています。
- ・将来展望は、住民基本台帳の人口を基にした「推計」に加え、合計特殊出生率を段階的に向上させるとともに、毎年の転入超過数を令和4年（2022年）までは、450人、令和7年（2025年）までは400人、令和12年（2030年）までは300人、その後は150人が継続するものとしています。

図 人口の将来展望

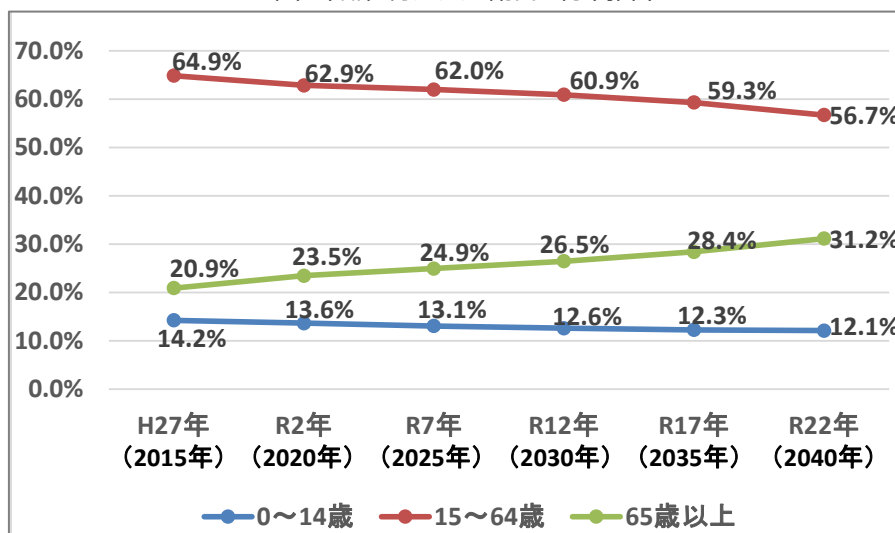


資料：令和2年千歳市人口ビジョン（改訂）

□ 年齢別人口割合

- ・65歳以上の人口割合は、平成27年（2015年）で20.9%であり、令和22年（2040年）で31.2%となっており、徐々に上昇することが推計されています。
- ・14歳以下の人口割合は、平成27年（2015年）で14.2%であり、令和22年（2040年）で12.1%となっており、徐々に低下することが推計されています。

図 年齢区分別人口割合の将来推計

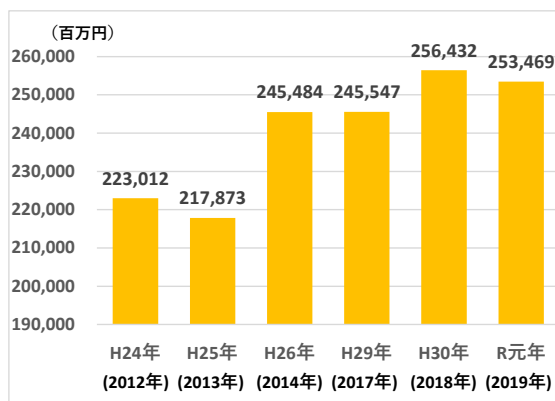


資料：平成27年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

□ 産業

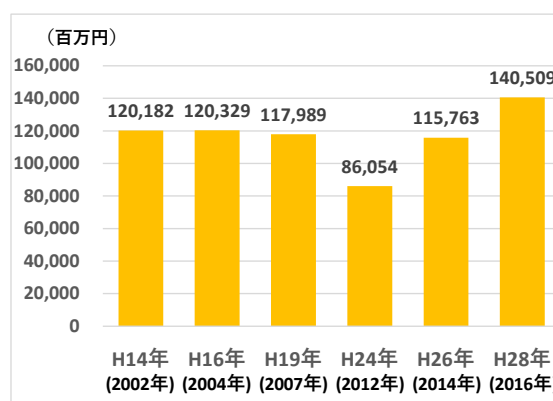
- ・工業製品出荷額は、平成24年（2012年）から平成30年（2018年）まで増加傾向にあり、平成30年（2018年）の出荷額は、北海道内で第4位となっています。
- ・小売業の商品販売額は、平成14年（2002年）から平成19年（2007年）まで横ばいとなっており、平成24年（2012年）には減少するものの平成28年（2016年）には増加し、1,405億円となっています。
- ・観光入込客数は、平成26年（2014年）度から令和元年（2019年）度まで5,000千人前後で推移していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。

図 工業製品出荷額の推移



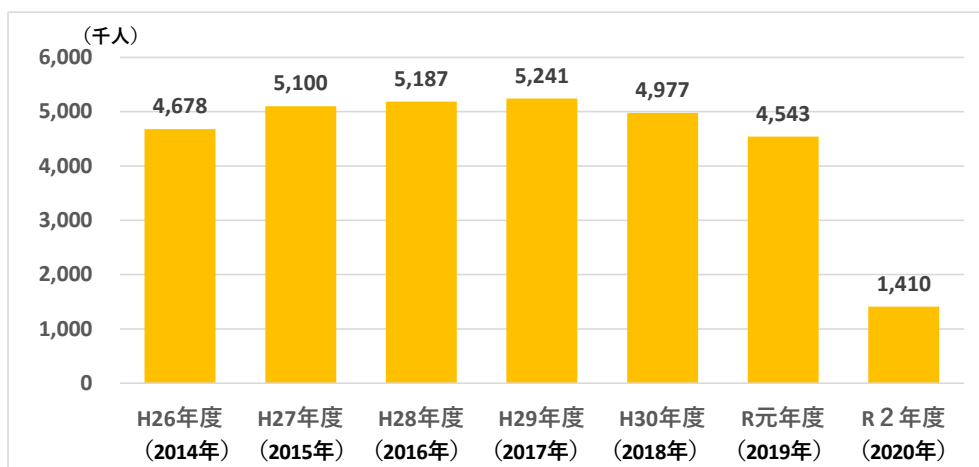
資料：工業統計調査

図 小売業の商業販売額の推移



資料：経済センサス基礎調査（平成24年、28年）
商業統計調査（平成14年、16年、19年、26年、28年）

図 観光入込客数の推移



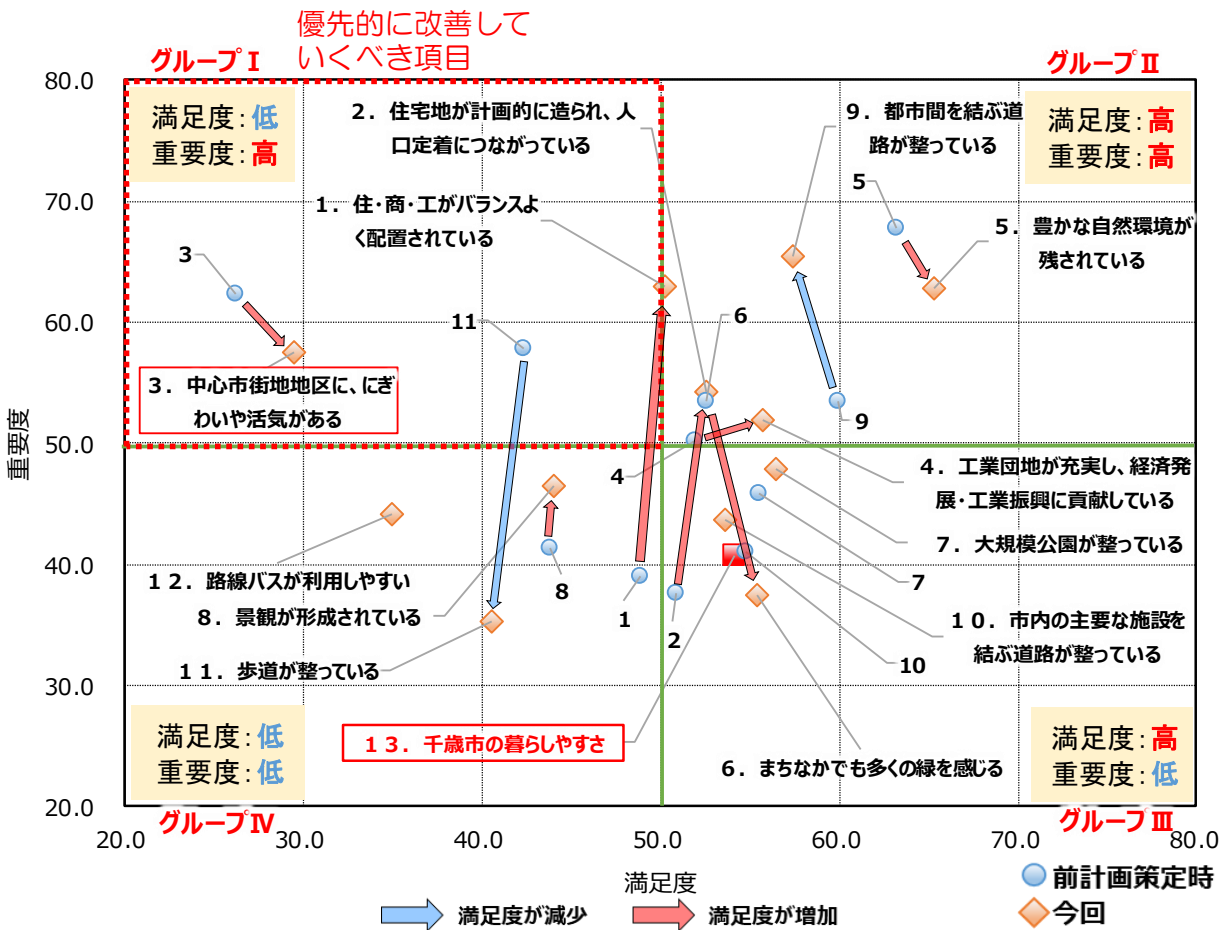
資料：北海道観光入込客数調査報告書

03 | 市民の意向

まちづくりに対する市民意向などを把握し、今後のまちづくりに活かしていくため、市民アンケート調査を実施しました。

千歳市全体の都市づくりの満足度・重要度

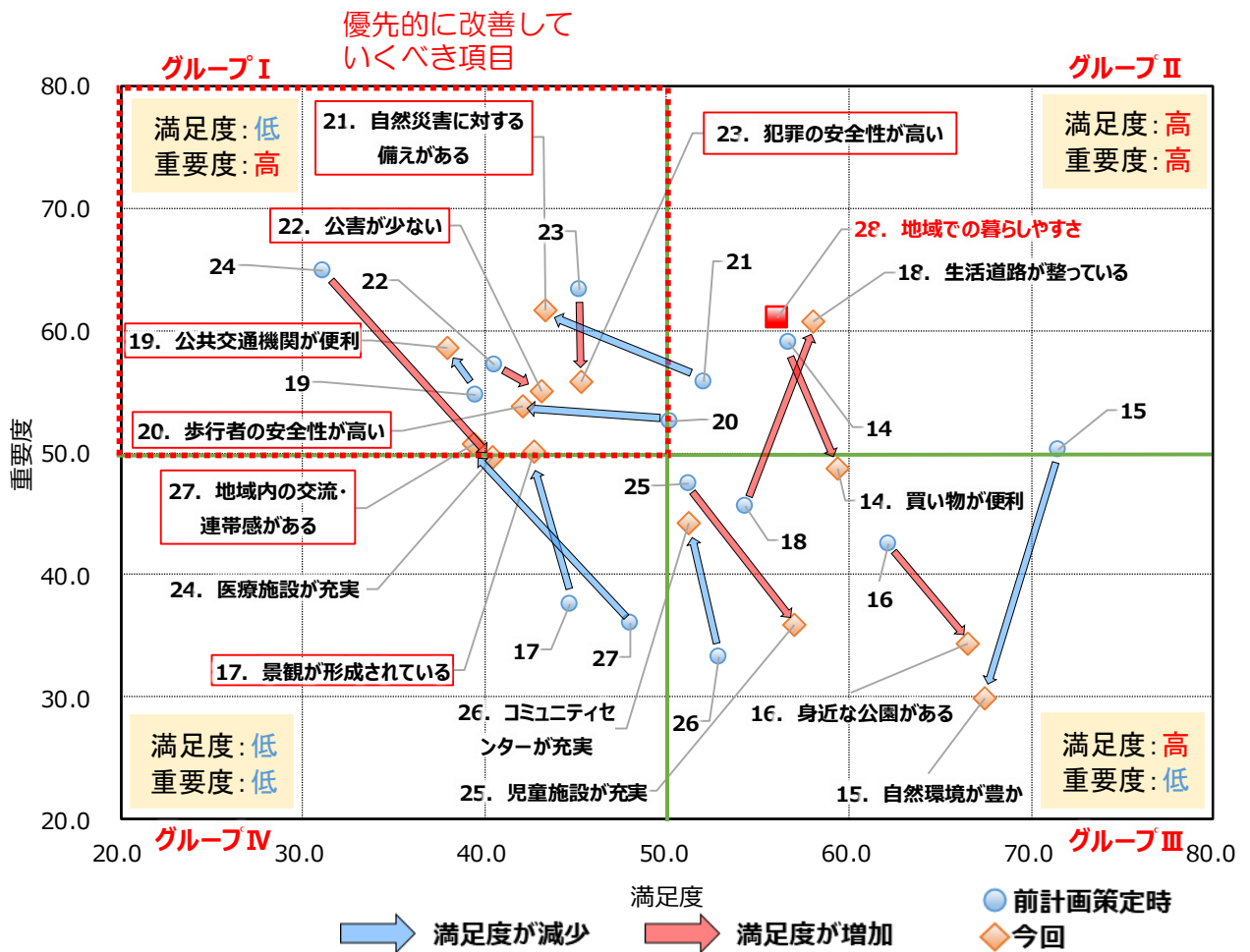
- 都市づくりについて満足度が高かった項目は、「豊かな自然環境が残されている」、「都市間を結ぶ道路が整っている」、「大規模公園が整っている」などです。この結果は第2期都市計画マスタープラン策定の際に実施したアンケート結果と一致しています。
- 満足度が低かつ重要度が高い項目は、優先的に改善していくべき項目であり「中心市街地地区に、にぎわいや活気がある」となっています。



出典：令和元年度 千歳市の今後のまちづくりに関する市民アンケート

□ お住まいの地域の満足度・重要度

- ・お住まいの地区全体について満足度が高かった項目は、「自然環境が豊か」、「身近な公園がある」、「買物が便利」などです。この結果は前回調査と一致しています。
- ・満足度が低くかつ重要度が高い優先度の高い項目は、優先的に改善していくべき項目であり「公共交通機関が便利」、「自然災害に対する備えがある」などとなっています。
- ・前回調査時と異なる点は、自然災害に対する市民の重要度が上がっていることです。



出典：令和元年度 千歳市の今後のまちづくりに関する市民アンケート

04 | 見直しの要点

これまでのまちづくりの進捗や現状、市民会議からの提言、市民アンケート調査などを踏まえ、策定した本計画における見直しの要点は、次のとおりです。

項目	見直しの要点
<p>人口増加への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期都市計画マスタープランでは、令和2年(2020年)の将来人口を95,000人としていましたが、平成27年(2015年)の国勢調査における人口は、95,648人、令和2年(2020年)では97,950人となり、将来人口を上回っています。 ・千歳恵庭圏都市計画区域区分*では、人口の見通しに基づき市街化区域*の拡大について検討が可能になっています。 <p>▷ [新たな住宅地の形成について検討します。]</p> <p>なお、市街化区域*周辺の農地などをむやみに開発するのではなく、土地利用の整序を図るため、周辺が市街化区域*などに囲まれている地区を対象としています。</p>
<p>将来の人口減少・少子高齢化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域*における人口は、推計の基準年である平成27年(2015年)の国勢調査人口を令和22年(2040年)まで上回っており、本計画の計画期間内は、人口増加期であると言えますが、将来的には人口が減少すると考えられます。 ・高齢化率は、徐々に上昇し高齢化が進展する推計となっています。 <p>▷ [人口増加の機会を生かし、都市機能*の増進、安全性や利便性の確保を進めることで持続可能な都市構造の構築につなげ、人口減少に転じる前から人口減少期を見据えたまちづくりを進めます。]</p>
<p>工業・流通業務地の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港、鉄道、高速道路などの交通機能を生かし、製造業、流通・物流機能、先端技術産業などの集積を進めており、工業製品出荷額は、増加減向にあります。 ・千歳恵庭圏都市計画区域区分*では、生産規模の見通しに基づき市街化区域*の拡大について検討が可能になっています。 <p>▷ [必要に応じて、新たな工業地の形成について検討します。]</p>
<p>その他の課題への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査では、中心市街地の賑わいについて優先的に改善していくべき項目となっています。 <p>▷ [中心市街地の賑わい創出のため、まちなかの回遊性を高め、市民や観光客などがたくさん訪れるまちづくりを進めます。]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査では、「自然災害に対する備え」が優先度の高い項目となっており、平成30年(2018年)の胆振東部地震の発生で、防災・減災の取組は市民の大きな関心事の一つになっていると考えられます。 <p>▷ [千歳市地域防災計画や千歳市強靱化計画と連携し、防災・減災の取組を進めます。]</p>

項目	見直しの要点
千歳市に生まれた新たな“強み”の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の千歳市における動向は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ○新千歳空港インターチェンジ供用（平成 25 年） ○新千歳空港ロジスティクスセンター分譲（平成 27 年～） ○北海道千歳リハビリテーション学院の大学化（平成 29 年） ○千歳科学技術大学の公立大学法人化（平成 31 年） ○新千歳空港国際線ターミナル拡張（令和元年） ○新千歳空港含む道内 7 空港の民間による一括運営委託（令和 2 年） ○国指定史跡・キウス周堤墓群*を含む縄文遺跡群の世界遺産登録（令和 3 年）など ▷ 【近年の千歳市における動向をさらなる発展のための“強み”と捉え、それぞれの強みを生かしていく都市づくりの方針を定めます。】
より地域の特性に応じた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画は、全体構想と地域別構想で構成しています。全体構想は、千歳市第 7 期総合計画などの上位計画を踏まえ、都市づくりの理念と目標や目指すべき将来の都市構造を定めています。地域別構想は、全体構想で定めた内容を基本とし、地域を分類した上で地域の特性に応じた地域づくりの目標などを定めています。 ・前期都市計画マスタープランでは、「中心市街地地区」、「市街地中部地域」、「市街地西部地域」、「泉沢地域」、「新千歳空港周辺地域」の 1 地区 4 地域の地域区分としていましたが、「市街地中部地域」、「市街地西部地域」については、JR 千歳線を境に土地利用や人口動向などの違いが大きくなっています。 ▷ 【より地域の特性に応じた計画とするため、市街地中部地域及び市街地西部地域を【鉄道以南】、【鉄道以北】に分け、1 地区 6 地域の地域区分とします。】



支笏湖